

令和 6 年度 看護管理者活動推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：箕浦洋子 副委員長：板東由美 委員：小山美幸・臼井直美・荒尾和美・堀口美由紀・柳崎朱美・松本奈美・北野 貞
■開催回数	11回
■活動目標	1. 看護管理者自身が自ら考え課題解決できるための場を提供し支援する。 2. 看護管理者間の連携と相互支援を推進する。
■活動内容	1. 看護管理者交流会の開催 1) 年間 7 回開催（6 月～2 月） （1）令和 6 年 6 月、9 月、10 月、11 月、12 月、令和 7 年 1 月、2 月開催 参加者数各回 12 名～17 名（委員含む） （2）テーマは、中堅クラスの退職、中堅のキャリア支援、看護師長の育成支援に関すること、看護補助者の活用等の中から 2 テーマを選定し実施 （3）参加者を増やすために開催時間を 14：00～、17：00～の 2 パターンとした。 2) 交流会参加者アンケート結果報告 （1）施設代表者会で報告 令和 6 年 8 月 1 日 3) 交流会の周知方法を検討し、参加者を増やす （1）テーマの事前告知を行い、開催時間を 2 パターンとした （2）定例発送、メールインフォ、施設代表者会、施設回り、支部会員会等で案内した。 （3）数回参加している方には再度案内した。 2. 看護管理実践能力向上の支援 1) 看護管理者の管理実践能力向上のための活動支援 看護管理者研修「看護管理者に必要な知識～看護の質と身体拘束～（ライブ配信研修）」講師：寺井美峰子 氏（医学研究所北野病院 看護部長） 令和 7 年 3 月 22 日開催、参加者 178 名（委員含む） 2) 看護管理実践発表会の支援 （1）発表会の支援…座長 （2）講演会の企画…交流会（参加者 123 名・座長含む） ディスカッション テーマ：「看護管理のワクワクを考えてみよう」 講師：箕浦洋子 氏（関西看護医療大学 特任教授） 3. 看護管理者間の連携推進 1) 支部で行われている看護管理者ネットワーク会議に出席し、看護管理者交流会で抽出された課題の共有や情報交換を行う。 → 未実施
■活動の評価	1. 看護管理者交流会を開催し、現場の状況把握、抱えている問題などを共有することができている。交流会に参加することで、自分の管理を振り返る場になっている。 参加者が自ら考え行動できる糸口となるよう、交流会を運営しているが、参加後どのような実践につながったのかを検証していくことも必要である。 2. 交流会参加者を増やす方法を検討したが、さほど増えることはなかった。しかし毎回参加する管理者も増えつつあるので、周知活動は継続する。

	3. 看護管理者実践能力向上の取り組み ①看護管理実践発表会での交流会を企画した。グループワークでは管理実践を振り返り、大変な思いをしながら管理を実践しているが、結果的にワクワクしながら管理をしていることに気づけた。日々実践していることを共有しながら、ワクワクしながら管理をすることは、人材育成や組織の活性、自分自身のモチベーションにつながることで再認識できた機会となった。 ②看護管理者研修は、医療機関・介護施設・訪問看護ステーションからの参加もあり、タイムリーなテーマであり関心の高さが伺えた。実際の取り組みの紹介があったので自施設の課題が明確になり、看護管理者に必要な基本的な知識を再認識し、看護の質、患者の尊厳を守るために管理者としての示唆が得られた機会となった。
■今後の課題	1. 看護管理者交流会の持ち方、周知方法の検討 2. 看護管理者間の連携推進の検討